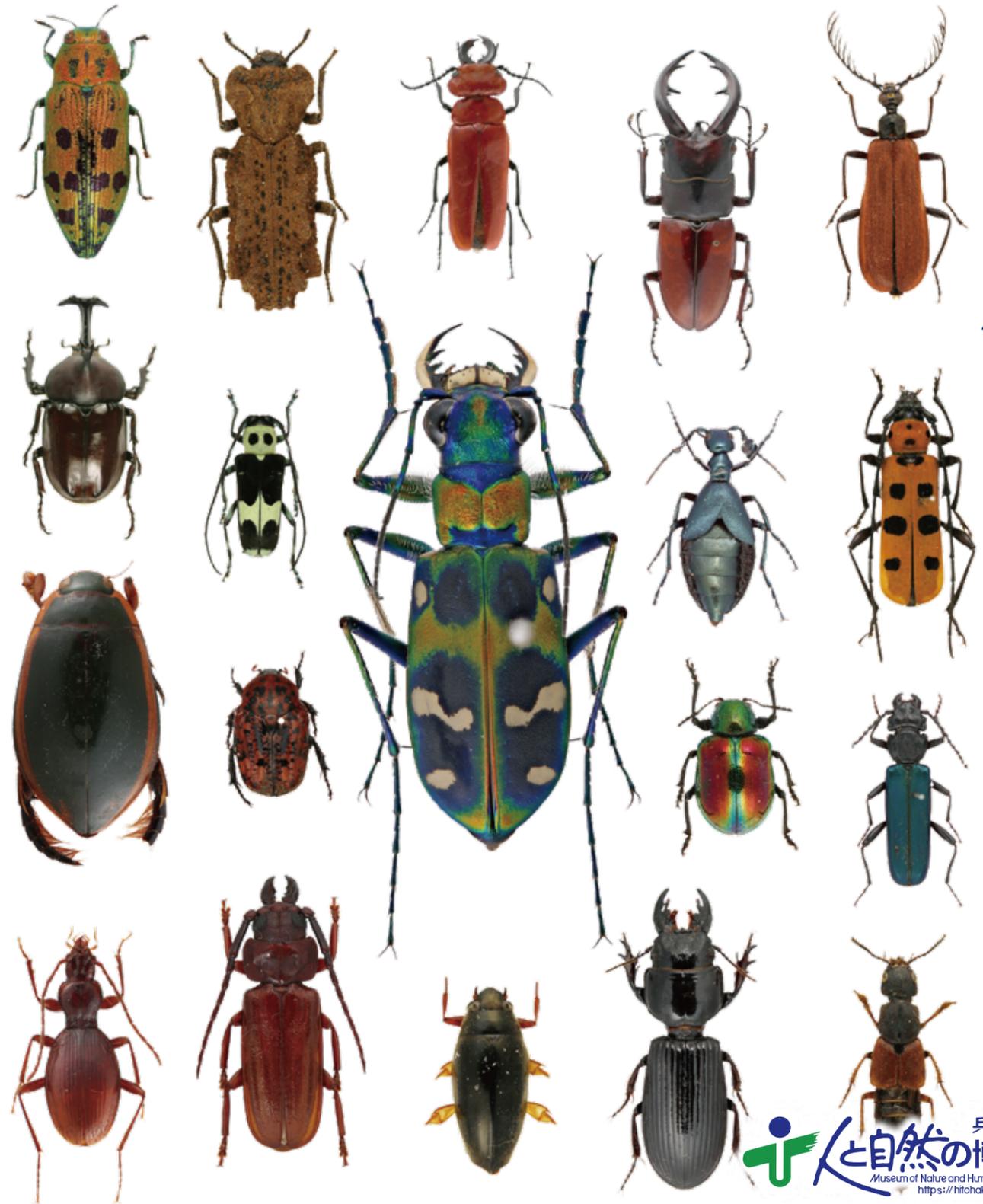


ハーモニー

甲虫展

—ひとはくコレクションのビートルズ—



コラム

寄贈資料紹介 室田忠男氏のハチ類コレクション

福井県のハチ類研究者であった室田忠男さんのご遺族から、日本・台湾を中心としたアジアのハチ類コレクションが寄贈されました(図1)。約45,000点もの標本が含まれます。実は、福井県は、ハチ類の研究が非常に盛んな県です。それは、福井大学に勤めていた日本を代表するハチ類研究者である常木勝次先生が、多くの研究者を輩出していたからです。室田さんも常木先生に師事していた一人です。当館には、常木勝次先生やそのお弟子さんであった羽田義任さんによって集められた膨大な標本が保管されています。生前の室田さんの要望もあり、常木先生や羽田さんの標本が収められている当館にコレクションを寄贈していただくことになりました。



図1 自宅で保管されていた標本箱



図2 ギングチバチ科の標本

室田さんのコレクションは、単独性のカリバチ類を中心とした構成になっています。特にギングチバチ科が充実しています(図2)。在野の研究者ではありませんでしたが、常木先生らと新種を発表するなど、国際的な活躍をされていました。寄贈後、すでに台湾の研究者から室田さんのコレクションについて問い合わせがあり、学術的価値の高いコレクションと言えます。今後も、国内外、多くの研究者に活用してもらえるように、きちんと保管するのが、博物館の使命だと考えています。

山崎 健史(系統分類研究グループ)

トピックス

新入研究員の紹介



岩石に刻まれた情報を手がかりに、地層の広がりや堆積した時代、当時の環境を調べています。机の上より野外が好きで、気づけば地層を追いかけていました。よろしくお祈りします。

地球科学研究グループ 三宅優佳



大学院ではイモムシ(チョウ目の幼虫)の角や突起の研究をしていました。害虫駆除の会社にも勤めていました。昆虫を中心に兵庫県下の子どもたちと楽しい環境教育活動を進めていきたいです。

コミュニケーション・デザイン研究グループ 坂本貴海



沖縄や小笠原諸島などの暖かい地域のコケ植物(特にカタシログケ科)について研究しています。理科教員であった経験も生かして、コケ植物や標本の魅力を伝えていけるよう頑張りたいと思います。

系統分類研究グループ 西畑和輝



研究対象はクチキゴキブリという家屋害虫ではないゴキブリで、オスとメスがお互いの翅を食べ合う生物初の行動が知られています。この後は相手を取り換えることなく、もしかすると人より誠実なゴキブリかもしれません。

生態研究グループ 大崎遥花

